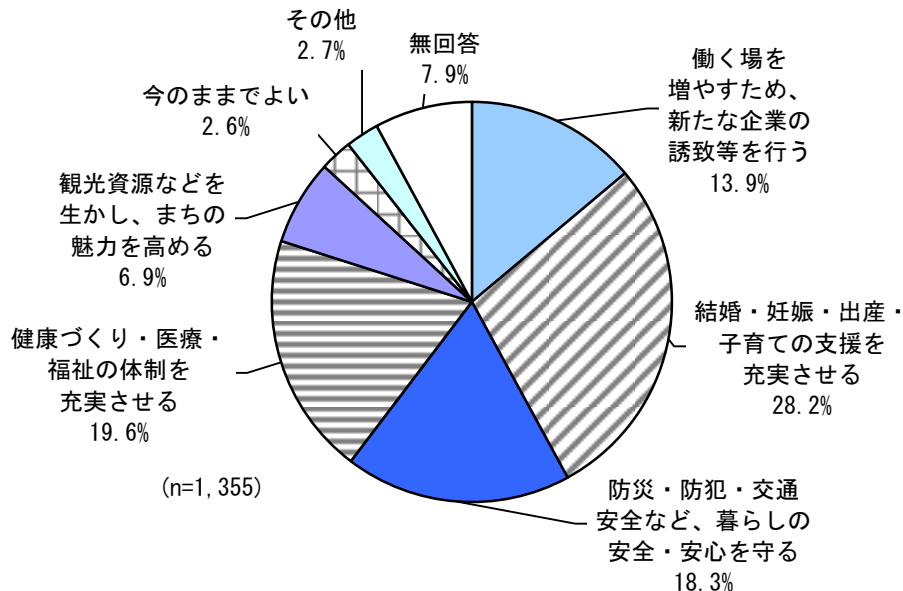


## 6. 加古川市が今後取り組むべきまちづくり

問6 全国的にも、少子化や大都市圏への人口集中が課題となっている中、加古川市の今後のまちづくりについて、最も重要だと思われる取組を1つ選んで番号に○をつけてください。

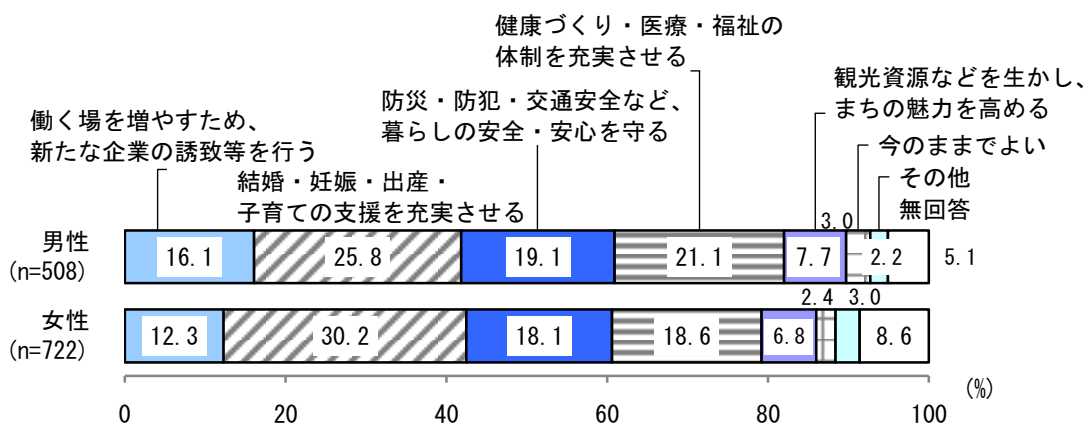
【図6-1 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



●加古川市が今後取り組むべきまちづくりについては、「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が28.2%と最も高く、次いで、「健康づくり・医療・福祉の体制を充実させる」が19.6%、「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が18.3%、「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」が13.9%、「観光資源などを生かし、まちの魅力を高める」が6.9%となっている。(図6-1)

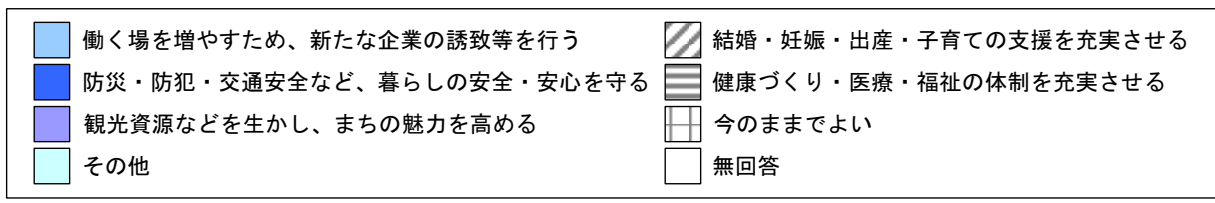
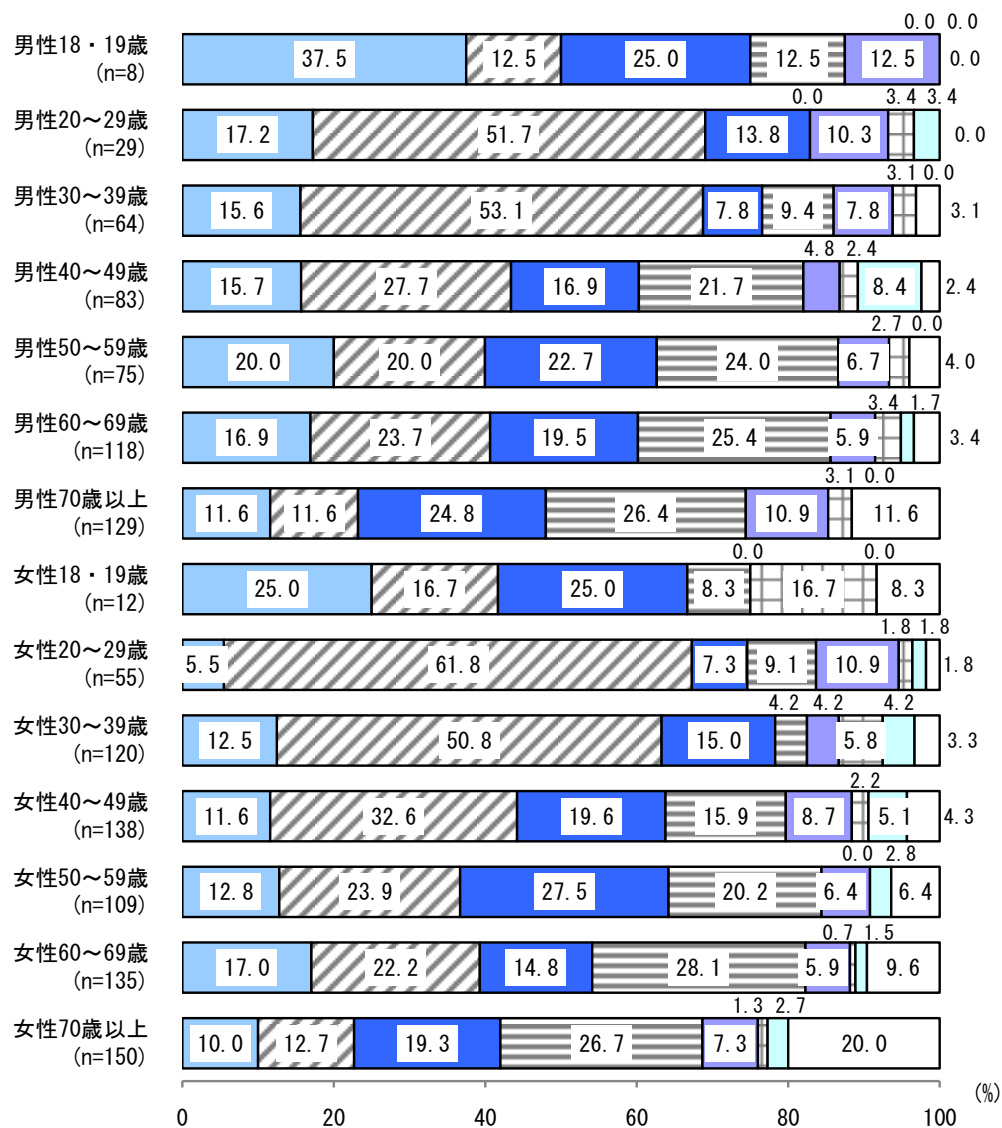
●性別で見ると、すべてのカテゴリーで「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が高く、男性では25.8%、女性では30.2%となっている。(図6-1-1)

【図6-1-1 性別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



●性年代別でみると、男性18・19歳では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」が37.5%と最も高く、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」がそれぞれ51.7%、53.1%、27.7%、61.8%、50.8%、32.6%と最も高く、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性60～69歳、女性70歳以上では「健康づくり・医療・福祉の体制を充実させる」がそれぞれ24.0%、25.4%、26.4%、28.1%、26.7%と最も高く、女性18・19歳では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」と「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が25.0%と最も高く、女性50～59歳では「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が27.5%と最も高くなっている。(図6-1-2)

【図6-1-2 性年代別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



- 居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西、志方では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」がそれぞれ30.6%、34.6%、27.1%、28.1%、23.4%、24.5%と最も高く、加古川北では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」と「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が25.9%と最も高く、両荘では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」と「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が20.4%と最も高くなっている。(図6-1-3)

【図6-1-3 居住地区別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】

